

宮坂建設工業が海岸線の環境美化

住民とともに汗流し作業

役員16人が熱心に

【帯広発】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）は二十日、広尾町で行われた海岸線の環境美化活動に参加した。役員十六人が黄金道路沿いに散乱したごみなどを一時間余りこわたり拾い集めた。写真。

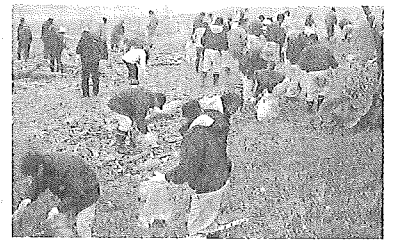
広尾町の町内会連合会、観光協会などで構成するふるさとクリーン作戦実行委

員会が良好な海岸環境を次世代に引き継ぐために開催しているもので今回が十六回目。広尾町内で工事を施工しているため、同社も地域貢献の一環として参加した。

当日は二百三十人が参加。開会式では、藤井喜代隆委員長、村瀬優町長らがあいさつし、それぞれ長年の取組に感謝を示しつつ、

参加者に対してより一層の協力を呼びかけた。

このあと三班に分かれて、大型バスで広尾川河口付近、美幌地域、泉浜周辺へ移動。同社は泉浜周辺を担当し、ペットボトルやビニールごみなどを中心に、地元の人たちとともに汗を流しながら拾い集めていた。

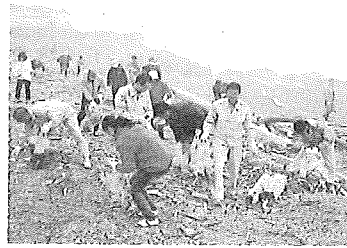


黄金道路の

景観守ろう

町内会が清掃

【広尾】国道336号（黄金道路）の美しい景観を守ろうと、地元町内会が20日、道路沿いの海岸で清掃活動を行った。写真。



町内会連合会が20年前から、毎年この時期に企画しているが、昨年は東日本大震災後の余震による津波への懸念から中止しており、2年ぶり。各町内会、建設会社や広尾署、広尾海保の関係者、サーファーら合わせて約240人参加。近年では最多となった。

濃霧の中、参加者は広尾川河口から泉浜地区までの数キロを分担し、約1時間かけて空き缶、ペットボトル、発泡スチロールなどを拾った。集めたごみは2トトラック2台分になった。

最多240人が
浜辺のごみ拾う
クリーン作戦

【広尾】「ごみゼロの日」
(30日)を控え、全町あげ
て国道336号(黄金道路)
沿いの海岸を清掃する第16

回ふるさとクリーン作戦が
20日、展開された。近年で
は最多の240人が参加
し、浜辺のごみを拾い集め
た。

町内会連合会などで作る
運営委員会が主催。昨年は
東日本大震災の影響で中止

総勢240人でごみを
拾ったクリーン作戦



となり、2年ぶりの開催と
なった。

各町内会の他、広尾署、
広尾海上保安署、日高信金
広尾支店、宮坂建設、清水
・西江J.Vの社員らも加わ
った。

参加者は広尾川河口から
町泉浜までに分かれ、砂浜
に落ちていた空き缶などの
ごみ約4トンを回収した。
この日は他に、フンベ海岸
でサーフィン愛好家が独自
の清掃活動もした。

町美幌地区のごみ拾いを
担当した大山光子さん(64)
は「例年よりごみが少な
かった印象」と話していた。
町内会連合会の藤井喜代隆
会長は「大勢の皆さんにご
参加いただき大変ありがた
い」と感謝していた。

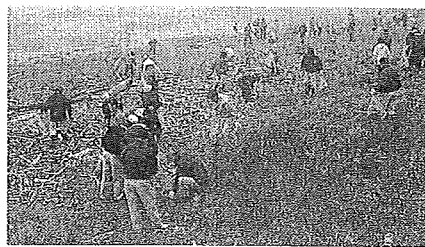
(長田純一)

北 海 道 建 設 新 聞

広尾町のクリーン
作戦に参加協力

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業
(本社・帯広、宮坂寿文
社長)は20日、広尾町内
で実施された、ふるさと
クリーン作戦に参加し、
役員16人が国道336
号沿いの海岸線で空き缶
などを回収した。写真。



水産資源と優れた景観
に恵まれた海辺をきれい
にするため、広尾町町内

会連合会らが毎年実施し
ている取り組み。同社は、
町内で工事に携わる機会
があるため、地域貢献活
動の一環として参加し
た。

参加者は、広尾川河口
から美幌にある泉浜まで
の黄金道路沿いの海岸線
を約3キロわたって歩
き、プラスチックごみや
ペットボトル、空き缶な
どを拾い集めた。